

クラスの人気巨乳ギャルが
僕の部屋に入り浸る話



はらへら
harahera

それはある日の
放課後…

帰る前に少しゲームを
していた時だった

柿谷君
ちよつと良い？

突然クラスメイトの
七瀬さんに話しかけられた

七瀬はるか

学年女子一の人気ギャルで
友好関係が広く成績も良い

大人びた雰囲気で
他の女子と明確に
差があると感じる

そんな彼女が
目立たない俺に
何の用だろう……？

何……？



えっ？

いやあ私朝
親と喧嘩しちゃってさあ

いま私絶賛
家出中でえ

いつもは家出中
友達の家に泊めて
もらうんだけどさあ

私頻繁に家出する
から友達達も流石に
良い顔しなくなってねえ

だからお願い
柿谷君！

今夜泊めて！

流石に駄目だろ
それは……

それになんで
大して仲良くも無い
女子を家に泊めなきゃ
ならないんだよ……

と……

思ったのだが



彼女の交友関係は
広くて中にはややこしい
奴もいると聞く……

下手に彼女の不興を買って
そんな奴らに目をつけられたら
たまった物じゃない



それに今周りに
誰もいないから
変な噂も立つ事も
無い……

仕方が無い……

う、うん……
分かった
良いよ

ありがとー
助かるよ！

うっお！

手柔らかっ……！！

それじゃあ
案内してよ
柿谷君！

君の家っ！

……



へえー
良いトコ住んでるね

もしかして柿谷君
の家お金持ち？



本当にここまで
来てしまった...

大丈夫なのか
これ...



問題無い無い
大丈夫！

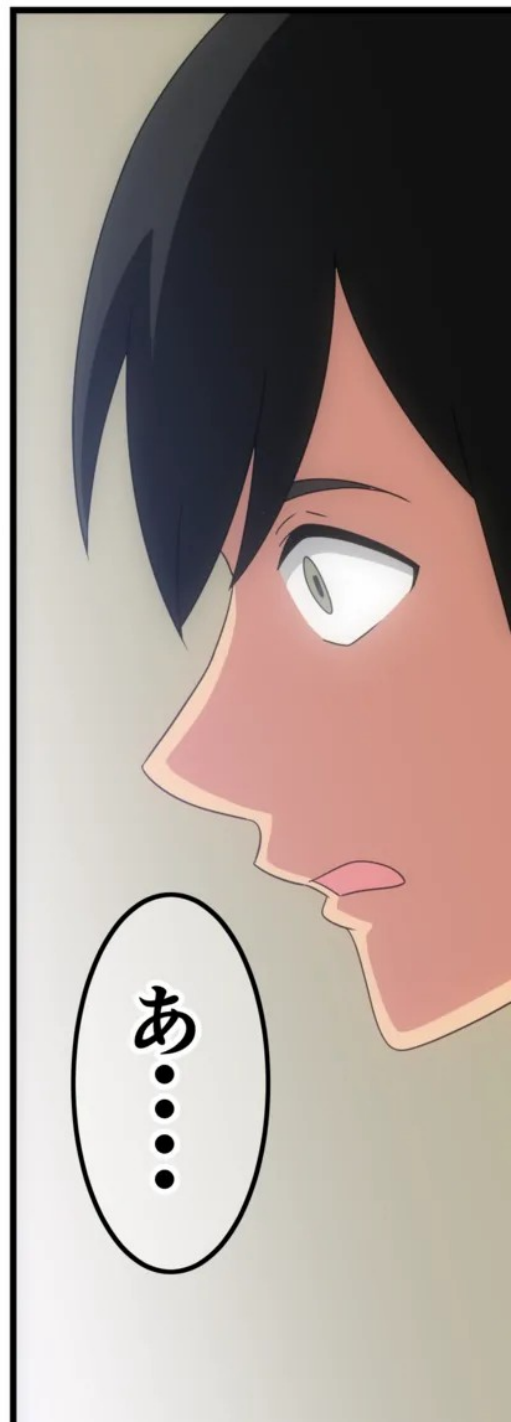
私、柿崎君の事
信用してるから！



七瀬さん...

マジでうちに来るの？
その...一人暮らしの
男の家に...





突然の事で気持ち
追い付いていなか
嫌でも気が付いて

俺の部屋に女子が
しかも七瀬さんが

普通にしたらまず
接点の無い高嶺の
みたいな人が密室
目の前に!?

しかも泊まるん
だよな今日!!

と、とりあえず一
離れて落ち着こう

何か飲み物
持ってくるね

え、良いの?
ありがとー

やばい…一度離れて
落ち着いたら凄く
ドキドキしてきた…!!

一体これから
どうしたら良いんだ?

このまま戻って
何か話を…

俺ゲームの話位しか
出来ないぞ…



あれ、わざわざ
淹れてくれたの?
ありがとう



ちょ…!
パンツ見えて…

ごめんね、ちよつと
ゲームしちゃったた

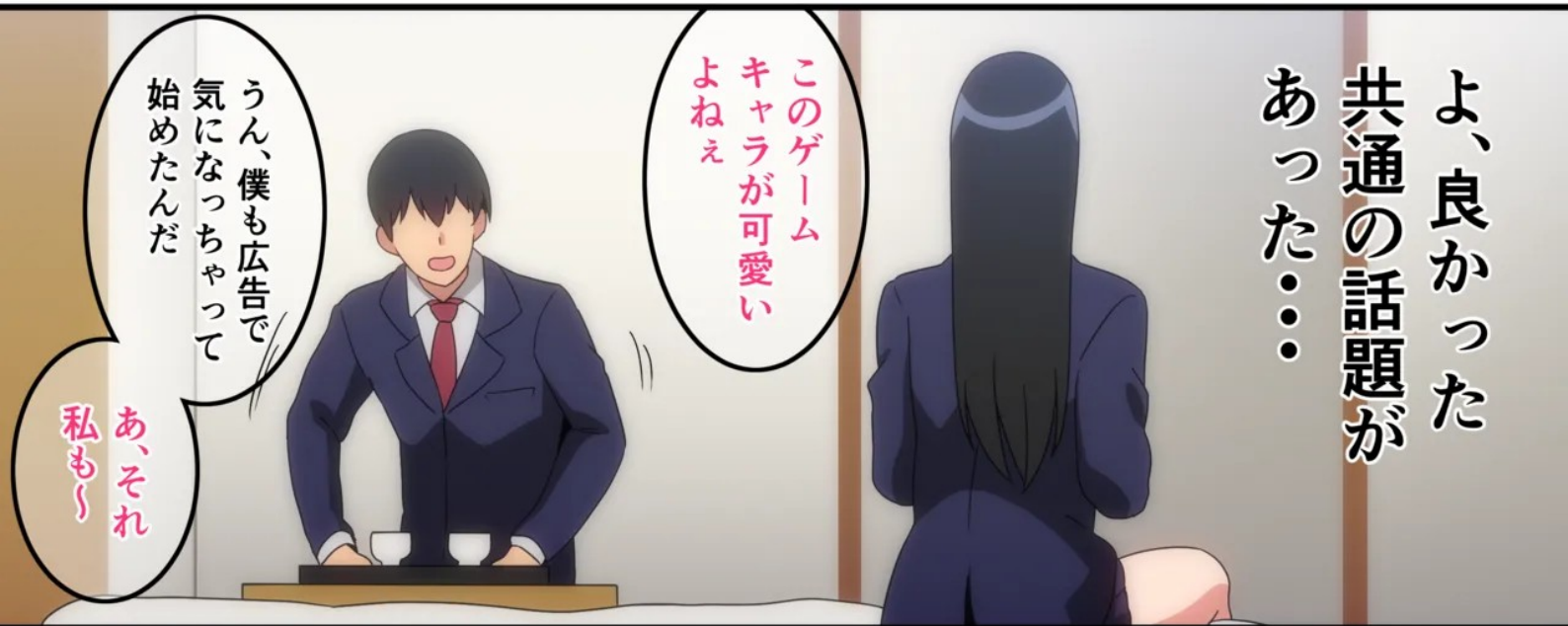
分かってたら
手伝ったのに

無防備すぎ
でしょ!!



えっ、柿谷君も
知ってるのこれ！

そのゲーム
七瀬さんも
やってるんだ…



よ、良かった
共通の話題が
あった…

このゲーム
キャラが可愛い
よねえ

うん、僕も広告で
気になっちゃって
始めたんだ

あ、それ
私も！



問題は夜…



これを皮切りに
話を広げて…

何とか間を
持たせたが…

ええっ、そんな
悪いよベッド使わせて
もらうなんて！

押しかけてるの
私なんだし

いや…流石に
女子をその辺で
寝かせて自分だけ
ベッドで寝るとか
出来ないし…

でもお…

まあ
気にしないでよ
あっちの部屋で
寝るの慣れてるし

ゲームしながら
寝たりするしさ…

じゃあお休み…

パタニ

ふう…
何とか乗り切った…

気を使いすぎて
とてもそんな
気分にはならない
よ…

エロ漫画だとこの後
やっちゃったりするん
だらうけど…

後はこのまま
ソファで寝るだけ…

結局その夜は
何事も無く僕は
眠りにつき

緊張して
眠れない……

朝を迎え

熟睡した
のか……

オハヨー

一緒に登校
するのはまずい
だろうという事で
駅で別れ……

ありがとー♡

突然始まった
僕の家には七瀬さんが
お泊りするイベントは
幕を閉じた

つ、疲れた……

学校に着いてからの
彼女は相変わらず人気者で
常に周りに誰かいて……

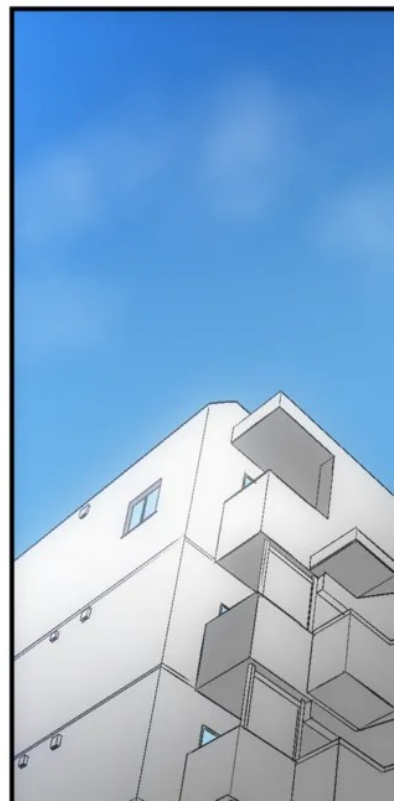
いつも通りの
日常に戻った

ウケルー

まあ何か期待
してた訳じゃ
無いけど……

良い様に使われた
だけか……

寝よ……



あ、来た来た
お帰りー

実はあの後帰ってから
また親と喧嘩
ちゃってさー

また泊めて貰え
ないかなー？

流石に2日
連続で泊める
のは...

うん...良いよ

パンツ見てしまった
後ろめたさで断
れなかった

と、思ったのだが...

イッ♡

他に誰か泊めてくれないの？
七瀬さん交友関係
広そうだけど

いやあ私付き合いは
広く浅くなのでそんなに
気を許せる友達
いないんだよねえ

男子は喜んで
泊めてくれるだろうけど
みんな実家暮らしで親が
良い顔しないでしょ

それになんか下心
丸出しで怖いし…

だから頼れるの
柿谷君だけなの
お

なんか…

彼女の困って図々しい
頼みをしてくる姿に
緊張が解けてきた

なんだろうこれ

っっ

流石に今日からは
家事手伝ってね

うん！

その日以来七瀬さんは
ほぼ毎日家に泊まりに
来る様になってしまった



家出するたびに
僕の家に来てるとしたら
複雑な家庭環境でそのうち
何か厄介事に巻き込まれるかも
しれないかとも思ったが…

もう断るタイミング
を逃してしまった



そしてこの生活に
慣れてくると

今度は女子と一緒に
こんなに近くに居る事
を意識してしまう



う…
ふとももが…

まあ手を出す様な
度胸も無いけど

七瀬さん
紅茶だよ



ありがとー



そんな生活が
一月ほど続いて
お互い慣れた頃……

おおっ
リリコ10連で出た!

しかしこのキャラ
とんでもない恰好
してるな……



それに
このキャラ

ちよつと
七瀬さんに
似てるかも



え、何?
私がどうかしたの?

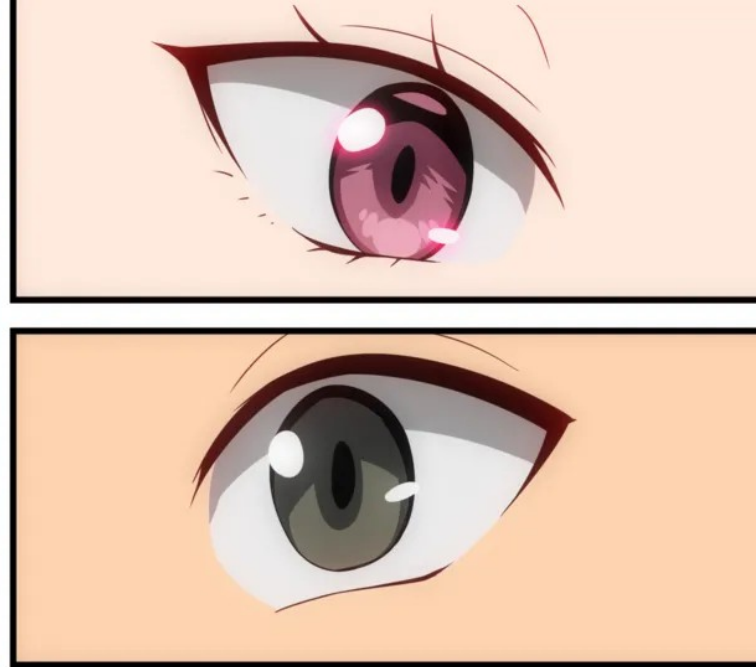


うわっ
七瀬さん!?

柿谷君
驚きすぎいいー











夢中で舐め合い...

二人とも舌を絡める
感触に頭が痺れてギシ



そして……

は——っ

は——っ

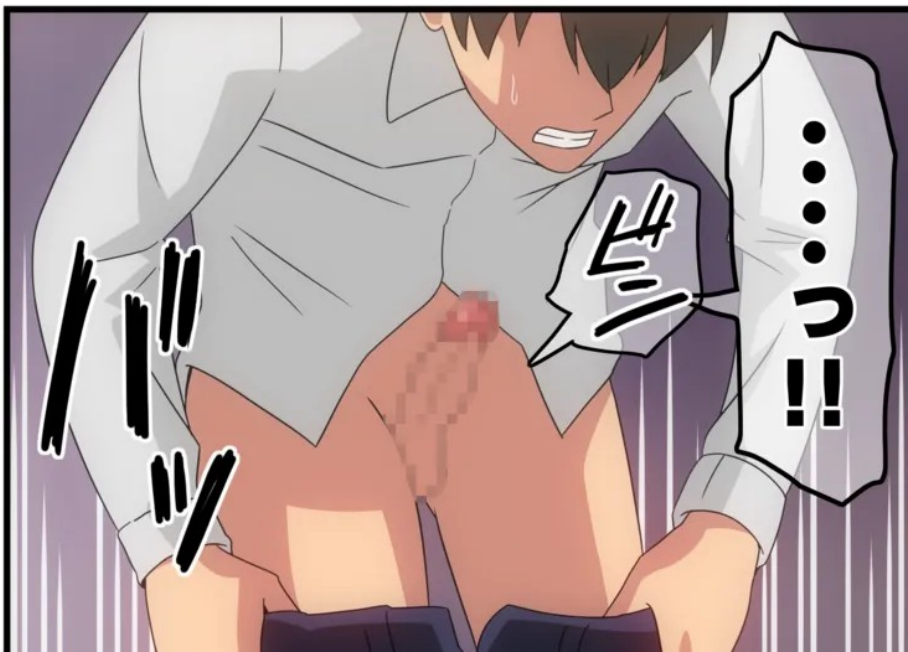
疲れて舌を離す頃には
お互い完全に出来上がって
いた……

は——♡

は——♡

良い？

七瀬さん





あっ!!

ゴロ



これで良い？

うん……そ……

フル
フル

くちゅう……



まだ私全部
脱いでないよ……



は——

ごめ……
もう我慢
出来ないんだ

は——





ごめ…初めてだから
ちよっと痛かった

でも大丈夫
痛いより気持ち良いの
方が勝ってるから



痛っ…

ビクッ

あつ…
大丈夫？



初めて…

俺が…

ぢゅ ぢゅ

あつ…

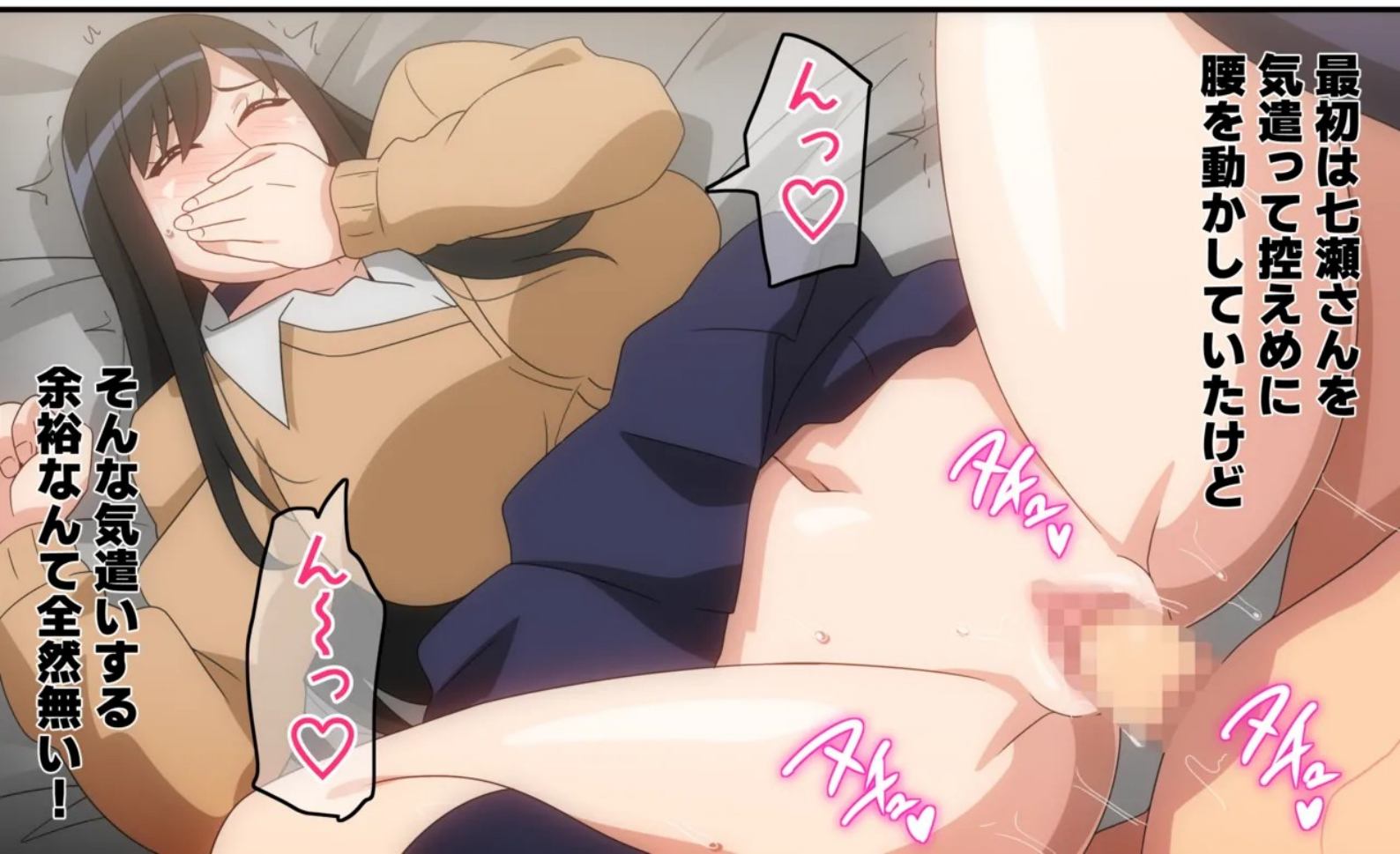
あつ！



七瀬さんの！

ずう

んうっ！



どんどんピストンは
早くなつて

ちゅ
ぽ
ぽ

ちゅ
ぽ
ぽ

すぐに射精感が
こみ上げてくる

ふっ！

ちゅ
ぽ
ぽ

あっ
♡

ふっ！

ちゅ
ぽ
ぽ

やっ……
激しっ……

っ
——
い
く







凄い量…

ゾクゾク

これ、私の瞳に入
れる気だったん
だあ…



ごめっ…
すぐ拭くよ…

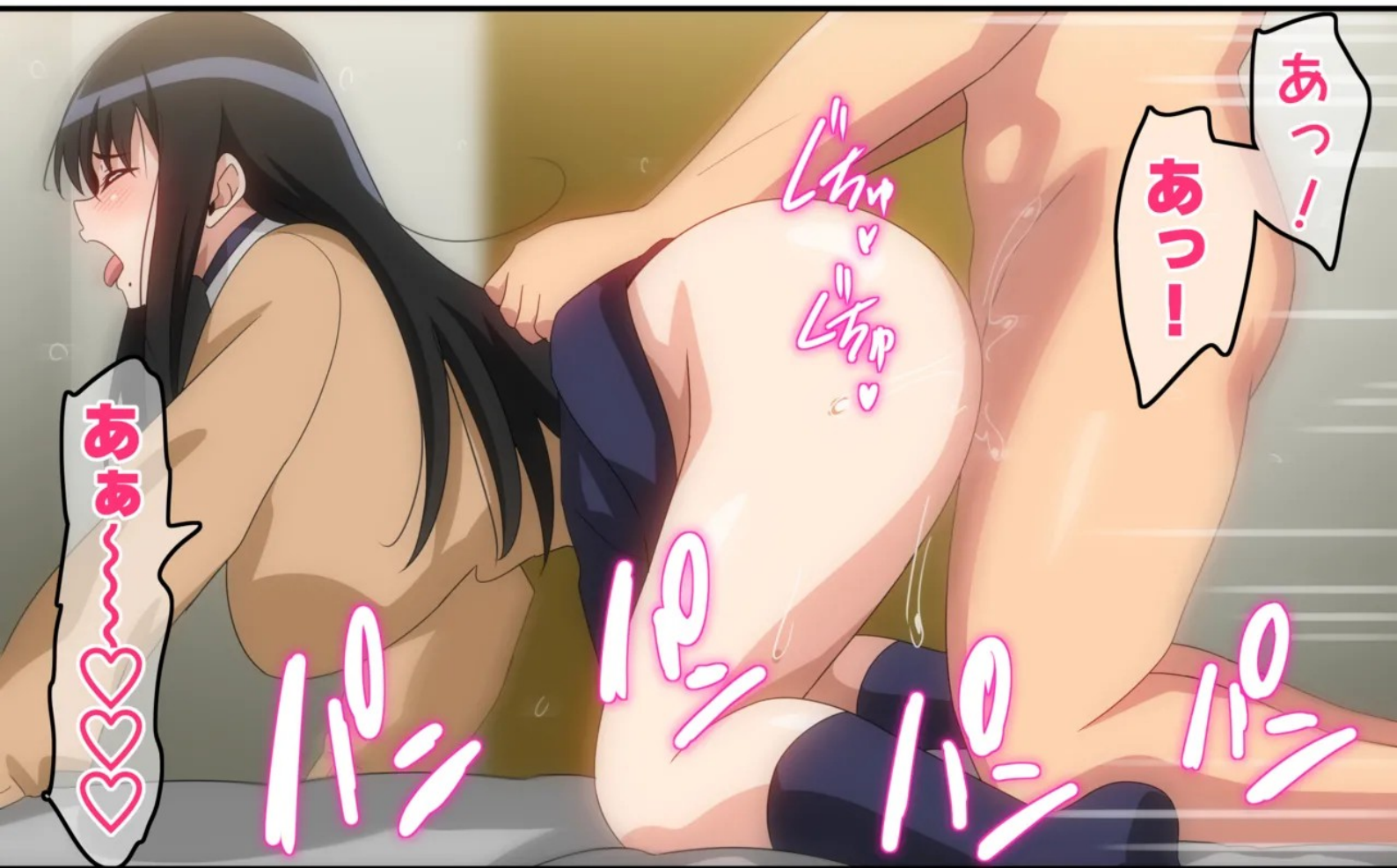
柿崎君



もう一回
してえ…

今度は中に
出して良いからあ♡

…



交尾・・・！

動物みたいに交尾する
相手が七瀬さんなんて！！

あゝ

あゝあゝ

興奮しすぎて
勃起がやまない！

ムムムム

あんなに出したばかり
なのに大量の精子が
上って来る！

ムムム

ムム

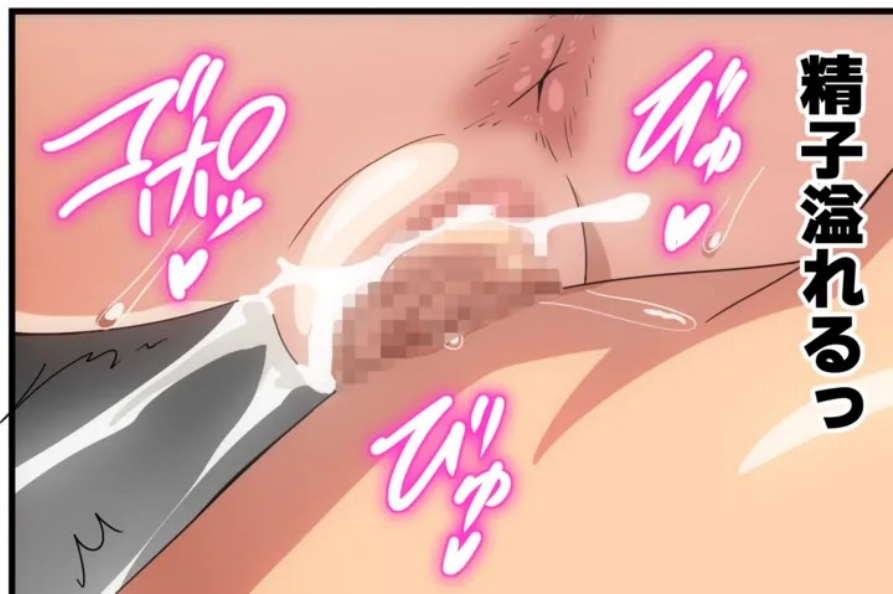
ムムム

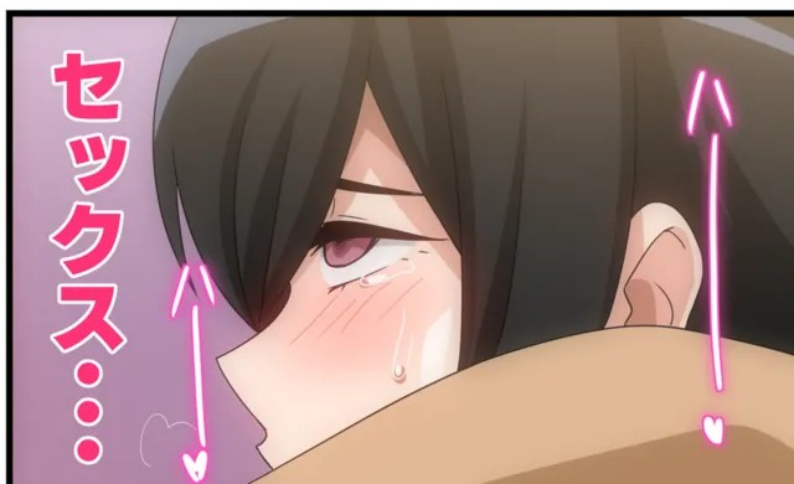
七瀬さん
出すよっ！

このまま
精子出し
ちゃうよー！

良いよ来て！！

精子いっぱい
出してえ♡♡♡







柿崎君…



気持ち…

良かったねえ♡

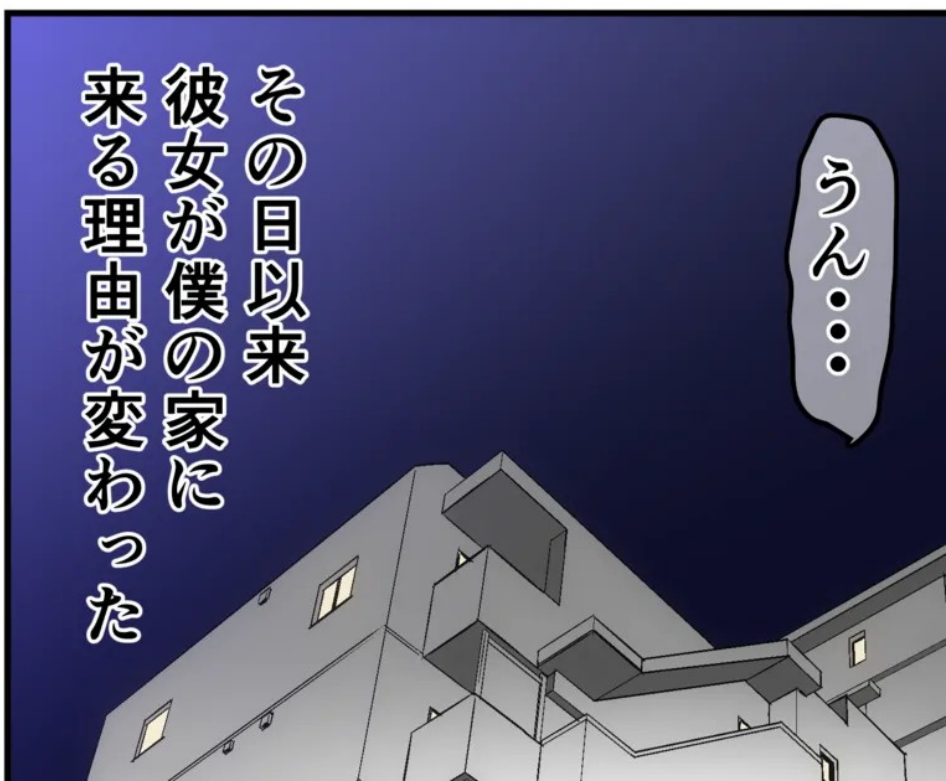


んっ♡

んっ♡

ちゅ♡

ちゅ♡



うん…

その日以来
彼女が僕の家
に来る理由が
変わった